

【平成22年度】寄付金を活用した事業についてお知らせします

市立小樽文学館および市立小樽美術館の整備事業並びにその周辺の整備事業

皆さまからいただいた「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり寄付金」により、市立小樽文学館・美術館を下記のとおり再整備させていただきました。心からお礼申し上げます。

この整備事業におきましては、寄付金の一部（10,613,000円）を活用しました。

<一原有徳記念ホール>



日本を代表する版画家一原有徳の常設展示室を3階に開設しました。版画などの作品展示はもちろん、作家・作品への理解を深めていただくため、作品制作過程を動画で紹介するコーナーや、自宅のアトリエを再現したコーナーを設けています。

<手宮線側入口・事務管理室>



壁の館名サインをバックに、来館記念の記念撮影をされるお客さまもいらっしゃいます。

<ミーティングルーム>



小規模な会議などに使用しております。会議が入っていないときはお客様の休憩コーナーとしても使用しています。

<研修室>



40人程度の会議・研修会のほか、「おたる雪あかりの路」のボランティア控室としても利用させていただきました。

<収蔵庫>



地階には収蔵庫を整備させて、移設いただきました。庫内には作品のコンディションを保つため、除湿機を設置しました。

<市民・多目的ギャラリー>



従来 3 階にあった市民ギャラリーを 1 階に移設しました。利用者の方からは「明るくきれいになった」と好評です。

<文学館（古本コーナー）>



従来あった事務室を 1 階にし、文学館の古本コーナーを明るく開放的な空間にしました。

小樽市総合博物館の展示鉄道車両の保全事業

「平成22年度には、これらの車両のうち、電気機関車、ディーゼル機関車、客車、気動車、食堂車など12車両の補修や塗装をNPO法人北海道鉄道文化保存会の協力により進め、寄付金の一部（1,084,055円）を活用しました。」

【電気機関車(ED76) の補修中の写真】



【電気機関車(ED76) の補修中の写真】



【電気機関車(ED76) の補修後の写真】



【ディーゼル機関車(DD51) の補修中の写真】



【ディーゼル機関車(DE10) の補修中の写真】



小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観条例」に基づく登録歴史的建造物の保全事業

小樽には数多くの銀行、倉庫、店舗など歴史的建造物が現存しています。

中でも優れた文化遺産として高く評価されるものを、市では「小樽市登録歴史的建造物」として登録し、保全工事を行う際は、必要に応じ、技術的援助や修復経費の一部助成を行うなど建物の保全に努めてきました。

平成22年度は、この寄付金を活用し、修復工事の経費として、寄付金の一部（2,000,000円）を活用し助成金を交付しました。

今後も、小樽らしい都市景観の形成に向けて、これら歴史的建造物の保全を進めます。

その他市長が必要と認める事業

「国指定重要文化財 旧手宮鉄道施設機関車庫三号」の保存修理工事の終了を契機に、「完成記念講演会」を開催し、寄付金の一部（379,719円）を活用しました。

